

The supplementary explanations are in Japanese only.

- 弊社では、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、参加者の皆様の健康と安 全確保を第一に考慮した結果、2019年度期末決算説明会の開催を中止させていただく こととしました。株主、投資家の皆様方には、ご迷惑をお掛けする結果となりました が、何卒ご理解賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。
- 新型コロナウイルスにつきましては、全国大で感染が拡大し、沖縄県においても142
   名の感染者が確認されました。また、緊急事態宣言が発出され、休業要請が出される
   等、県経済ならびに県民生活は強く影響を受けました。
- 5月に入ってからは、新規感染者は発生しておらず、緊急事態宣言は5月15日に解除 されました。徐々に経済活動を再開し始めたところですが、第二波を警戒しつつ、着 実な回復が求められております。
- 弊社におきましては、新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すため、3月14
   日に社長の本永を本部長とする危機管理本部を設置し、各所において種々の対策を講じております。
- お客さまの暮らしと経済活動を支えるインフラ事業者として、事業継続計画(新型インフルエンザ等対策業務計画)に基づき、電力およびガスの一層の安定供給に努めてまいります。
- 引き続き、お客さまと役職員の安全、健康確保を最優先に、社内外への感染拡大の防止に努めつつ、県民生活の平穏そして県経済の回復に向け、グループ−体となり、確りと取り組んでまいります。

## Financial Results for FY2019 (Year-on-Year Comparison)

				22			(Unit. )	million yen, x)
	C	Consolidated (A	()	Nor	n-consolidated	(A) / (B)		
	FY2018 (Results)	FY2019 (Results)	Rate of Change	FY2018 (Results)	FY2019 (Results)	Rate of Change	FY2018 (Results)	FY2019 (Results)
Sales	205,481	204,296	-0.6%	195,960	194,471	-0.8%	1.05	1.05
Operating income	5,443	10,326	+89.7%	3,507	8,236	+134.8%	1.55	1.25
Ordinary income	5,220	9,311	+78.4%	3,694	7,321	+98.2%	1.41	1.27
Net income	3,751*	6,705 *	+78.7%	3,034	5,651	+86.2%	1.24	1.19

\* Net income attributable to owners of parent.

Consolidated and Non-consolidated : Decrease in Sales, Increase in Income (the first time in 3 years)

#### [Revenue]

- Decrease in Electricity sales due to decrease in Electricity sales volume and income from the Fuel cost adjustment system in Electric business.
- Increase in Sold power to other suppliers and Transmission revenue in Electric business.
- Increase in Sales to outside customers in consolidated subsidiaries.

### [Expenditure]

Decrease in Fuel costs and Depreciation costs in Electric business.

1

(Unit: million ven X)

(Management Overview P.3) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 2019年度決算は、連結ベースの経常利益で対前年78.4%増の93億11百万円となり、
   中長期経営計画における2020年度の財務目標「経常利益90億円以上」を一年前倒し
   で達成することができました。
- 主な要因として、収益面では、他社販売電力料の増加や託送収益の増加、電灯・電力 ともに新規お客さまによる需要の増加はありましたが、他事業者への契約切り替えに よる需要減により、販売電力量が減少したことに加え、燃料費調整制度の影響により、 売上高は減少となりました。
- 連結子会社における売上高の増加としては、㈱リライアンスエナジー沖縄において、
   エネルギーサービスが開始したことによる売上増や、㈱プログレッシブエナジーにおけるガス供給事業の増加、沖電開発㈱における公共工事、建物賃貸業務の増加となっております。
- 費用面では、CIF 価格の下落等による燃料費の減や、設備の経年による減価償却費の減 少がありました。

# Annual Outlook Summary FY2020

			2			(Unit:	million yen, X)
C	Consolidated (A	.)	No	n-consolidated	(A) / (B)		
FY2019 (Results)	FY2020 (Forecasts)	Rate of Change	FY2019 (Results)	FY2020 (Forecasts)	Rate of Change	FY2019 (Results)	FY2020 (Forecasts)
204,296	191,800	-6.1%	194,471	181,500	-6.7%	1.05	1.06
10,326	10,000	-3.2%	8,236	8,100	-1.7%	1.25	1.23
9,311	9,300	-0.1%	7,321	7,500	+2.4%	1.27	1.24
6,705*	7,000 *	+4.4%	5,651	5,900	+4.4%	1.19	1.19
	FY2019 (Results) 204,296 10,326 9,311	FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)           204,296         191,800           10,326         10,000           9,311         9,300	(Results)     (Forecasts)     Change       204,296     191,800     -6.1%       10,326     10,000     -3.2%       9,311     9,300     -0.1%	FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)         Rate of Change         FY2019 (Results)           204,296         191,800         -6.1%         194,471           10,326         10,000         -3.2%         8,236           9,311         9,300         -0.1%         7,321	FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)         Rate of Change         FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)           204,296         191,800         -6.1%         194,471         181,500           10,326         10,000         -3.2%         8,236         8,100           9,311         9,300         -0.1%         7,321         7,500	FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)         Rate of Change         FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)         Rate of Change           204,296         191,800         -6.1%         194,471         181,500         -6.7%           10,326         10,000         -3.2%         8,236         8,100         -1.7%           9,311         9,300         -0.1%         7,321         7,500         +2.4%	Consolidated (A)         Non-consolidated (B)         (A)           FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)         Rate of Change         FY2019 (Results)         FY2020 (Forecasts)         Rate of Change         FY2019 (Results)           204,296         191,800         -6.1%         194,471         181,500         -6.7%         1.05           10,326         10,000         -3.2%         8,236         8,100         -1.7%         1.25           9,311         9,300         -0.1%         7,321         7,500         +2.4%         1.27

Net income attributable to owners of parent.

## Consolidated : Decrease in Sales (2 consecutive years),

Ordinary income (Almost unchanged from the previous year)

Non-consolidated: Decrease in Sales, Increase in Income (2 consecutive years) [Revenue]

 Decrease in Electricity sales due to decrease in income from the Fuel cost adjustment system and Electricity sales volume in Electric business.

## [Expenditure]

Decrease in Fuel costs and Purchased power costs in Electric business.

The impact due to spread of the novel coronavirus is not considering in this forecast because it is extremely difficult to calculate.

2

/I luit million was V

(Management Overview P.4) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 2020年度の業績見通しは、新型コロナウイルス感染拡大による影響は織り込んでおりませんが、連結ベースの経常利益で93億円を見込んでおり、財務目標を達成できる見通しです。
- 経常利益は前期並みではありますが、当期純利益は 70 億円で、4.4%の増益を確保する見通しです。
- 主な要因として、収益面では、燃料費調整制度の影響に加え、電灯・電力ともに他事 業者への契約切り替えによる影響で電灯電力料の減少を見込んでおります。
- 費用面では、CIF 価格の下落等による燃料費の減および他社購入電力料の減少を見込ん でおります。
- なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響につきましては、今後の状況の進展や事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示します。

# Influence of the novel coronavirus (1/3)

From January to March 2020, the spread of the novel coronavirus infection had affected many industries, especially the tourism industry.



(Management Overview P.5) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 沖縄県における新型コロナウイルス感染症の発生状況としては、4月中旬をピークに5
   月 19日現在で142名の発生が確認されております。
- 入域観光客数の動向は、昨年12月までは好調に推移しておりましたが、2月以降、大幅に減少しており、3月には対前年同月比で約55%の減となりました。
- 航空便については、3月下旬より全ての国際線が運休・欠航、国内線も4~5月については、約40%が減便となっており、ゴールデンウイーク期間(4/29~5/6)における沖縄路線の旅客数は、来県自粛要請等もあり、前年比で約95%の減となりました。
- また、ホテルの稼働率についても、入域観光客数の減少に伴い低下しており、4月以降 は休業が相次ぎましたが、足元では再開に向けた動きが見られています。
- 日本銀行那覇支店における業況判断指数においては、3月調査時点で3か月先の先行 きでは△13%ポイントまで悪化しております。



(Management Overview P.6) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 2020 年 1~3 月における電力需要は、計画値を下回りましたが、前年同月は上回って おります。
- 前年同様に冬場の気温が高かったことにより、計画値を下回ったものと見られ、新型 コロナウイルス感染拡大による影響は確認できず、限定的であったと判断しています。
- 今後、入域観光客数の減少に伴うホテルの稼働率低下や観光施設の休館、教育機関の
   休校などにより、電力需要も影響を受ける懸念があります。



(Management Overview P.7) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 4月全体としては、エリア需要で8.6%の減と大幅に減少しております。
- 要因としては、平均気温が前年と比べ 2.5℃低く、気温による影響(冷房需要の減少) があるものと考えられます。
- 4月の平均気温(19.8℃)は、3月の20.1℃を下回る低気温となり、平年値と比べ1.6℃
   低く、過去50年間で見ても2番目に低い気温となりました。
- 4月20日に沖縄県の緊急事態宣言、22日に休業要請が発出されて以降、電力需要が 前年度を大きく下回っておりますが、4月下旬の気温が前年に比べてかなり低く、気温 影響による需要減が相当程度にあったと思われることから、新型コロナウイルス感染 拡大による影響度合いについては見極めが難しい状況です。
- 5月以降、前年度を上回る日もみられることから、今後、新型コロナウイルス感染拡大 による電力需要への影響について見極めていきたいと考えております。

# Q1. Topics of Okinawa's Economy

## Current Status and Future Forecast of Okinawa's Economy

### ■ The current state

1

Recently, there are increasing more difficult in the prefectural economy by the impacts of the novel coronavirus.

To dian kerse	FY2019												
Indicators	Apr.	May	Jun	Jul	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	Mar.	FY
Sales by large-scale retailers	3.8	3.3	3.9	4.2	2.6	8.7	- <mark>5</mark> .7	1.0	0.4	2.6	0.2	-6.3	1.5
No. of new car sold	3.4	6.0	-11.3	-6.6	8.2	12.8	-17.7	-5.6	-4.0	-7.3	-0.5	- <b>15.5</b>	-3.7
No. of incoming tourists	2.2	0.5	7.2	8.8	-1.9	1.0	0.2	0.5	1.0	-3.4	-23.5	-55.2	-5.3
Value of public works contracts	-24.3	30.4	-18.1	94.2	-17.8	-12.5	29.8	28.2	94.7	1.3	-47.5	-11.7	4.3
New residential Construction starts	-1.5	-38.4	-20.6	-16.0	25.5	10.7	-16.2	- <mark>0.8</mark>	-17.5	-37.4	-19.1	-18.4	-12.1
Total unemployment rate	2.5	2.7	3.0	2.8	2.9	3.2	2.8	2.5	2.5	3.0	3.1	2.9	2.8
Job Opening Ratio	1.18	1.18	1.19	1.19	1.20	1.19	1.20	1.20	1.19	1.11	1.11	1.06	1.16

Trends in Main Economic Indicators of Okinawa Prefecture

Note 1: The figures for 'Sales by large-scale retailers' are calculated on an all-store base. The values in March 2020 are preliminary figures. Note 2: The figures for 'Total unemployment rates' are raw data, whereas The figures for 'Job Opening Ratio' are a seasonally adjusted value for the current month. (Please note that the values for the fiscal year are both raw data.)

(Please note that the values for the fiscal year are both raw data.) Source: Okinawa General Bureau, Okinawa Prefecture, Ryugin Research Institute, and others.

## Prospect

The prefectural economy is expected to continue to be affected by the novel coronavirus. Future risk factors include developments in the mainland and overseas economies (including prolonged effects of novel coronavirus and geopolitical risks).

6

(Management Reference Materials P.25) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 県内経済の現状は、足もとでは新型コロナウイルスの影響により、厳しさを増してい ます。
- 個人消費:新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、観光客数の減少や外出自粛 による購買客数の減少や消費マインドの低下などにより、弱含んでおります。
- 建設関連:公共投資は底堅く推移しています。住宅投資は弱めの動きとなっています。
- 雇用関連:有効求人倍率が2019年3月時点で42ヵ月連続、1倍台を記録しており、 また完全失業率も12月までは低下するなど基調としては改善しておりますが、足もと では新型コロナウイルスの影響があらわれています。
- 先行きについては、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けるとみられます。先行 きのリスク要因としては、本土および海外経済の動向(新型コロナウイルスの影響の 長期化や地政学的リスク等を含む)等が挙げられます。



(Management Reference Materials P.11) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 沖縄エリアにおける新電力の販売電力量シェアは、全電圧合計で 6.3%となっております。(2020 年 1 月時点)
- 2018 年 10 月以降、毎月 1,000 件を超えるスイッチング支援システムの利用実績があ り低圧において徐々に離脱が増えている状況です。
- ○弊社としては、2019年11月より供給開始した au でんき等、新設した各種料金メニ ユーをお客さまへ訴求し、新規顧客の着実な獲得、オール電化促進に加え、離脱した お客さまへの営業強化を図ってまいります。
- また、お客さまとのつながりを深めるためのコミュニケーションの場として「おきでん会員サイト」を2020年9月に開設し、新たにポイントサービスも導入することとしました。
- 電気とガス両方を供給できる沖電グループの強みを最大限に活かし、お客さま満足度の向上と更なる競争力強化に向けて、総合エネルギー事業の拡大を図ってまいります。



(Management Overview P.13) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 昨年4月に策定した「中期経営計画(2019-2021)」では、「財務目標」および「主要 数値目標」も掲げ、現在その取り組みを強化しているところです。
- 今年度は最初の目標年度となっておりますが、2020年度の財務目標については、2019年度に1年前倒しで達成し、2020年度についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を織り込んでおりませんが、目標経常利益以上を達成できる見通し(4月計画:93億円)です。
- また、主要数値目標のうち販売獲得量については、電気・ガスともに着実に獲得出来 ており目標を達成できる見込みとなっております。
- グループ外売上については、若干目標値に届かない見通しですが、これは LNG 価格下 落の影響によるものとなっております。



(Management Overview P.14) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 中期経営計画の進捗状況としては、各部門および戦略推進タスクフォースにおいて施 策検討を行っておりましたが、その内のいくつかは実行のフェーズに移っております。
- 「トップラインの拡大」に向けては、取戻し営業の実施や会員サイト・ポイントサー ビスの導入に加え、弊社本店構内に建設を予定しているエネルギーセンターを中心と した面的なエネルギーの供給等、実現に向けて準備を進めているところです。
- 「攻めの効率化・基盤整備」としては、発電所の運転状態の可視化やデータ分析等を 支援する IoT 基盤を吉の浦火力発電所へ導入しております。2020 年度には他の発電所 へも展開予定となっており、様々な検討が着実に実行に移っております。
- また、 「トップラインの拡大」 ・ 「攻めの効率化・基盤整備」 の両方にまたがる 取り組みとして、離島発電燃料の LNG 化についても検討を進めております。

# Capital Expenditures Plan (Electric Business)

- Capital investment in FY 2020 is expected to be around 40 billion yen due to the aging of power sources and an increase in the construction and replacement of power distribution facilities.
- Although costs for responding to aging of supply facilities are expected to increase, efforts are made to level off investment amounts.

								it: 100million yen)		
FY By facilities		20	)17	20	2018		)19	2020		
		Results	(Plan)	Results	(Plan)	Results	(Plan)	(Plan)		
Power sources		34	(60)	26	( 41)	63	(67)	(115)		
es	Transmission	39	(57)	57	( 88)	63	(87)	(86)		
facilities	Transformation	21	(26)	23	( 32)	39	(59)	(76)		
Supply 1	Distribution	59	(74)	61	(79)	48	(77)	(106)		
Sul	Subtotal	120	(157)	141	(200)	151	(224)	(267)		
Others		14	(17)	5	(7)	16	(6)	(26)		
	Total	168	(235)	173	(247)	230	(297)	(408)		
Note	: The figures may	not exactly	match the f	igures beca	use of roundi	ng.				
ajor F	Projects in Capita	al Investme	nts in FY 2	020]						
owe	r sources: Miyak	o Daini Po	wer Plant N	0.6,7	Supply fa	cilities: Re	sponding to	increasing demand		
Kin Thermal Power Plant Wood biomass supply system Makiminato Gas engine Power Plant				Replacement of aging facilities						
					Re tim		shortened power of			
		Makiminato Gas engine Power Plant				Responding to supply reliability				

10

(Management Overview P.11) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 2020年度の設備投資額は、各設備の高経年化対策に加え、中期経営計画の諸施策の実施を織り込んだ結果、2019年度から177億円増の408億円となっております。
- 主な件名として、電源設備については、宮古島でのデュアルフューエルエンジンの導入や金武石炭火力発電所において木質バイオマス燃料を混焼するための供給設備の設置工事、高経年化した牧港ガスタービン発電所の代替電源となる牧港ガスエンジン発電設備設置工事等となっております。
- 流通設備については、需要増への対応、高経年化による取替工事、停電時間短縮対応、
   供給信頼度対応による工事等の増加によるものとなっております。



(Management Overview P.17) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 弊社は宮古島において、重油および LNG の両方が利用できるデュアルフューエルエン
   ジンの導入を決定しました。
- デュアルフューエルエンジンの導入は、事業用発電設備としては国内初の試みとなり ます。
- LNG を発電燃料とすることで、CO2 の排出量低減やエネルギーセキュリティの向上が 実現できるとともに、燃料費の低減が期待されます。
- 経済性を含めた輸送スキームの検討に加え、離島における LNG 販路開拓、バンカリン グ事業等、検討すべき課題は多岐に亘りますが、引き続き取り組んでまいります。



(Management Reference Materials P.35) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 弊社は地球温暖化対策の一環として、2010年より、具志川石炭火力発電所において、
   建設廃材を原料とした木質バイオマス燃料の混焼に取り組んできました。
- 再生可能エネルギーの更なる活用推進に向け、新たに金武石炭火力発電所においても
   木質バイオマス混焼設備を導入します。
- 2021 年 3 月の運用開始以降、木質バイオマスの使用量は年間約 3 万 t、CO2 削減量 は年間約 4 万 t を見込んでおります。
- 今後とも、沖縄のエネルギーを支える事業者として、安定供給と同時に、環境へ最大 限配慮した取組みを続けて参ります。

## Reference 7: Stock Split

tock Split			
We implemented a stock split for the first time in two years on (Ninth time since being listed on the stock market.)	June 2020.		
This was to increase the actual amount of dividend per share to 60 yen per share.	for maintaining a	an annual divider	nd of
<ol> <li>Purpose of stock split         To distribute profits back to all our shareholders and increase the liquidity     </li> <li>Method of stock split         A 1.05-for-1 stock split     </li> </ol>	of our shares		
3. Number of shares increasing as a result of the stock split Total number of issued shares prior to the stock split : 54,217,110 shares	<reference: td="" tre<=""><td>end in Stock Splits Issued number of shares of</td><td>&gt; Ratio</td></reference:>	end in Stock Splits Issued number of shares of	> Ratio
Number of shares increasing as a result of the stock split : 2,710,855 shares Total number of issued shares after the stock split : 56,927,965 shares Total number of authorized shares after the stock split :	Feb. 10, 1992 Nov. 20, 1995 May. 25, 1999	common stock 14,728,132 14,875,413 15,172,921	Listed 1: 1.01 1: 1.02
92,800,000 shares 4. Stock Split Calendar	May. 20, 2005 Apr. 1, 2007	15,931,567 17,524,723	1:1.05 1:1.10
Record date: May 31, 2020 Effective date: June 1, 2020 5. Expected dividend for March 2021 (forecast )	Jun.1, 2015 Jun.1, 2016	26,287,084 39,430,626	1:1.50
End of 2nd quarter30 yen per shareEnd of term30 yen per share	Jun.1, 2017 Jun.1, 2018 Jun.1, 2020	43,373,688 54,217,110 56,927,965	1:1.10 1:1.25 1:1.05
End of term 30 yen per share		, ,	12 8007707

(Management Reference Materials P.48) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 株主の皆さまへの利益還元および株式の流動性の向上を目的とした、株式分割を決定しました。
- 2020 年 5 月 31 日を基準日といたしまして、普通株式 1 株につき、1.05 株の割合を もって分割を行います。
- 1株当たりの年間配当額は60円を維持するため、実質増配となります。
- 弊社は、2018 年より「安定配当の継続」に加え「DOE(連結純資産配当率)2.0%以 上」を数値基準として導入しております。
- 2019年度は、中期経営計画に掲げる財務目標を1年前倒しで達成し、2020年度についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を織り込んでおりませんが、目標経常利益以上を確保できる見通し(4月計画:93億円)となりました。
- これらを踏まえ、今回株式分割を実施することとしました。
- これにより、2020 年度の DOE は、2.1%となる見込みです。

## Responses to the Spread of the novel coronavirus Infections (1/3)

We have established the "Novel Coronavirus Infection Risk Management Headquarters" to ensure a stable supply of electricity and gas, while taking thorough measures to prevent infection among employees.

Therework handwarking and several stimulate	
<ul> <li>Thorough handwashing and cough etiquette</li> <li>Wear a mask at all times</li> </ul>	All possible measures have been taken to ensure business continuity in the event that there is an infected person at Power
<ul> <li>Physical division of office</li> </ul>	Plant or Load Dispatching Center that is vital for stable power supply.
<ul> <li>Working from home (telework)</li> </ul>	<ul> <li>Disinfection with alcohol at the time of entry and shift</li> </ul>
<ul> <li>Working for designated hours (Shifting of start time)</li> <li>Working under a two-group system, etc.</li> </ul>	<ul> <li>Listing of employees with work experience at various location as substitute personnel</li> </ul>

(Management Overview P.18) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 弊社では、従業員の感染予防対策の徹底とともに、新型インフルエンザをはじめとする感染症などのパンデミックに備え、電力およびガスの安定供給を維持するための「新型インフルエンザ等対策業務計画」(いわゆる BCP)を策定し、感染拡大などの状況に応じて対応しております。
- 2020年3月14日の改正「新型インフルエンザ等対策特別措置法」施行に伴い、県内の急速なまん延に備えるため、弊社の業務計画(BCP)に基づき「新型コロナウイルス感染症危機管理本部」を設置し、電力およびガスの安定供給に向けた対策を検討・実施しております。
- 発電所や給電指令所等、電力の安定供給上重要な施設において万が一感染者が発生した場合、代替要員を投入することで、事業継続に支障が出ないよう万全を期すこととしております。

Responses to the Spread of the novel coronavirus Infections (2/3)
As support measures for customers, Implementing special measures to extend the due date for payment of electricity charges.
Press Release 》和縄電力
2020年3月19日 沖縄電力株式会社
新型コロナウイルス感染症対策に係る電気料金の特別措置について
現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に公共料金の支払いが困難となるお客さ まについて、経済産業省から電気料金の支払期日の延長を要請されたことを受け、当社は、下記の 特別措置を講ずることとし、本日、「特定小売供給約款以外の供給条件」、「離島供給約款以外の 供給条件」および「託送供給等約款以外の供給条件」を経済産業大臣に認可・承認申請し、同日、 認可・承認を受けましたのでお知らせします。
Press Release (March. 19.2020)

(Management Overview P.19) The supplementary explanations are in Japanese only.

- お客さま向けの支援措置としては、新型コロナウイルス感染症の影響による休業および失業等で都道府県社会福祉協議会から特例貸付を受けている、または受けようとされているお客さまに対して、電気料金の支払期限を延長する特別措置を行っております。
- 3月分および4月分の電気料金の支払期日を各々3ヶ月間、5月分は2ヶ月間、6月分 は1ヶ月間延長します。
- なお、今後の新型コロナウイルスの影響を踏まえ、必要に応じて対応していく予定です。

## Responses to the Spread of the novel coronavirus Infections (3/3)

OEPC Group has made donations to support medical professionals who are striving to prevent the spread of the novel coronavirus infections and treat them, as well as economic organizations that perform various functions as consultation desks for companies in the prefecture.



16

(Management Overview P.20) The supplementary explanations are in Japanese only.

- 沖電グループとして新型コロナウイルスの感染拡大防止や治療にご尽力いただいている沖縄県医師会、および県内企業の相談窓口として対応されている経済団体を支援するため、合計で1億2千万円の寄付を行いました。
- 沖縄県医師会へ寄付した1億円については、医療用マスクをはじめ、ガウンや人工呼吸器等、医師会が必要とする医療用資機材の購入にお使い頂くことになっております。
- 医療関係者の皆さまへの感謝ならびに県民一体となってコロナ危機を乗り越えたいとの意を込めまして、4月30日から、発電所等にてブルーライトアップを実施しております。
- 一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、一日も早い国民生活・県民生活の平穏、そして日本経済・県経済が元気を取り戻すことを切に願っております。